

全自病協第 573 号  
平成 20 年 11 月 10 日

看護教育施設部会会員施設長 殿

社団法人 全国自治体病院協議会  
会 長 邊 見 公 雄  
看護教育施設部会  
部 会 長 田 中 隆 志  
(公 印 省 略)

### 自治体立看護学校に関する教育施設部会調査の結果について

全国自治体病院協議会看護教育施設部会では、自治体立看護学校における学校運営等について調査（全自病協第 149 号）を行いました。この度その調査結果を下記のとおりまとめましたのでご報告いたします。

なお、当調査結果は全国自治体病院協議会ホームページ (<http://www.jmha.or.jp/>) の「活動」>「調査報告」でも公開しております。

記

- 全国自治体病院協議会看護教育施設部会加盟校における看護師養成所学校運営調査報告  
．．． P. 1～9
- 自治体立看護学校に関する教育施設部会調査票 ．．．．． P. 11～13

以上

# 全国自治体病院協議会看護教育施設部会加盟校における看護師養成所学校運営調査報告

我国の看護師養成は、歴史の中で様々な変貌を重ねてきた。現在、平成以降の看護大学急増と少子化の影響を受け、全国の看護師養成機関が学生確保対策に力を入れている。自治体立看護養成所においても同様である。

全国自治体病院協議会看護教育施設部会では、昨年来会議の中で「学校運営上の課題」が論議され、財政上の問題、少子化・大学化の中での入学生確保、授業の質確保、安全かつ効果的な実習施設確保など、多くの事が話題となった。そこで、相互の参考にするため、今年度看護教育施設部会として、加盟校にご協力いただいて実施した調査結果をまとめたので報告する。

## I 調査の概要

- 1 調査対象 全国自治体病院協議会看護教育施設部会加盟校 135施設
- 2 調査方法 郵送配布・郵送回収。各施設代表者宛てとし、協力依頼文書、調査書を同封。
- 3 倫理的配慮 回答の有無による不利益のないこと、匿名性の確保、結果を報告することを記載し、返送をもって了解を受けたものとした。
- 4 調査時期 2008年4月1日現在の状況での回答とし、4月20日までに返送を依頼。

## II 調査結果

- 1 回収状況 発送数 135施設、回収 75施設 76通、内 有効回答 73通  
回収率 55.6% (3年・2年の複数課程校の回答1校分を2通としている)  
課程別回収数 表1 参照

表1 課程別回収数

課程	回答数	有効回答数
3年課程	62	60
2年課程	10	10
短期大学	2	2
看護大学	1	1
不明	1	0

### 2 入学に関して

#### 2-①1学年入学定員数

表2 課程毎の平均

課程	定員数平均
3年課程	44名
2年課程	37.4名
短期大学	85名
看護大学	50名

表3 1学年入学定員数 内訳

定員数	3年課程		2年課程		短期大学 学校数	看護大学 学校数
	学校数	%	学校数	%		
20~25名	5	8.3	1	10.0	0	0
30~39名	16	26.7	3	30.0	0	0
40~45名	28	46.7	3	30.0	0	0
50~60名	1	1.7	2	20.0	1	1
80名	9	15.0	0	0.0	0	0
120名	1	1.7	0	0.0	1	0
NA	0	0.0	1	10.0	0	0
計	60	100.0	10	100.0	2	1

#### 2-②入学試験受験手数料

表4 課程毎の平均

課程	平均金額
3年課程	8,607
2年課程	6,689
短期大学	17,500
看護大学	17,000

表5 入学試験受験手数料 内訳

金額	3年課程		2年課程		短期大学 学校数	看護大学 学校数
	学校数	%	学校数	%		
3000~5000円代	21	35.0	5	50.0	0	0
6000~9000円台	14	23.3	2	20.0	0	0
10000~15000円台	22	36.7	2	20.0	0	0
16000~20000円台	3	5.0		0.0	2	1
NA	0	0.0	1	10.0	0	0
計	60	100.0	10	100.0	2	1

### 3 3年課程入学試験〔一般、推薦、社会人〕

入学試験については、課程毎の相違があるため、3年課程・2年課程それぞれで表記する。

3年課程では、全校が一般入試で筆記試験を実施しているが、試験科目は学校によって違っている。国語・数学・英語は90%の学校で実施しているが、生物は20%、小論文は15%の学校で実施している。

推薦入試は93.3%の学校で実施しており、一般入試との相違点は学校により様々であるが、自由記載から主な相違点を上げると、高校での成績に条件を設けている 25校(41.6%)、地域指定 16校(26.6%)、卒業後一定地域内での就職が求められる 7校(11.7%)であった。〔表17 自由記載部分参照〕

社会人入試は、36.7%の学校で実施しており、一般入試との違いとして年齢・就業経験・入学確約(単願)を上げている学校が各々6校(実施校中27.3%)であった。〔表18 自由記載部分参照〕

志願倍率を平均値で見ると、社会人入試が一番高く7.4倍、次いで一般入試2.7倍、推薦入試1.8倍の順であった。

#### 3-① 一般入試

筆記試験の有無100% 筆記試験あり

表6 一般入試科目

試験科目	*科目編成は学校により違いため科目毎に集計	
	実施校	全校における割合
国語	57	95.0
数学	54	90.0
英語	57	95.0
生物	12	20.0
理科(生物化学)	1	1.7
生物・化学選択	7	11.7
数学・生物選択	2	3.3
数学・物理・生物選択	1	1.7
物理・化学選択	1	1.7
小論文	9	15.0
適性検査	1	1.7
NA	2	3.3

表7 一般入試志願倍率 平均 2.7倍

志願倍率	学校数	%
1.1~1.5倍	7	11.7
1.6~2倍	11	18.3
2.1~2.5倍	7	11.7
2.6~3.0倍	6	10.0
3.1~3.5倍	3	5.0
3.6~4.0倍	5	8.3
4.1~4.5倍	2	3.3
4.6~5.0倍	3	5.0
5.1~5.5倍	3	5.0
NA	13	21.7
計	60	100.0

表8 一般入試における面接試験の有無

面接試験の有無	学校数	%
あり	47	78.3
なし	6	10.0
NA	7	11.7
計	60	100.0

3-② 推薦入試

表9 推薦入試の有無

	学校数	%
あり	56	93.3
なし	3	5.0
NA	1	1.7
計	60	100.0

表10 推薦入学生の全入学定員中の割合

割合	学校数	%	平均 32%
50%前後	5	8.9	
30~50%	29	51.8	
20~30%以内	13	23.2	
20%以下	2	3.6	
NA	7	12.5	
計	56	100.0	

3-③ 社会人入試

表13 社会人入試の有無

	学校数	%
あり	22	36.7
なし	34	56.7
NA	4	6.7
計	60	100.0

表14 社会人入学生の全入学定員中の割合

割合	学校数	%	平均 17.6%
25~30%	5	8.3	
10~20%	10	16.7	
1~5%	2	3.3	
若干名	3	5.0	
推薦の範囲内	1	1.7	
NA	39	65.0	
計	60	100.0	

表11 推薦入学試験科目

\*科目構成は学校により違うため科目毎に集計

試験科目	実施校	実施校における割合
小論文・作文	35	62.5
面接	30	53.6
国語	19	33.9
数学	11	19.6
英語	10	17.9
グループ討議	1	1.8
適性試験	1	1.8
一般教養	1	1.8
書類選考	1	1.8
NA	8	14.3

表12 推薦入試志願倍率 平均 1.8倍

志願倍率	学校数	実施校における割合
1.0倍以下	7	12.5
1.1~1.5倍	8	14.3
1.6~2倍	8	14.3
2.1~2.5倍	4	7.1
2.6~3.0倍	3	5.4
3.1~3.5倍	1	1.8
3.6~4.0倍	1	1.8
5.9倍	1	1.8
NA	23	41.1
計	56	100.0

表15 社会人入学試験科目

\*科目構成は学校により違うため科目毎に集計

試験科目	実施校	実施校における割合
小論文	14	63.6
面接	12	54.5
国語	9	40.9
一般教養	4	18.2
適性試験	1	4.5
数学	1	4.5
英語	1	4.5
NA	0	0.0

表16 社会人入試志願倍率 平均 7.4倍

志願倍率	学校数	実施校における割合
1.6~1.9倍	2	9.1
2.5~3.3倍	3	13.6
4.8~5.5倍	4	18.2
6.5~9.2倍	2	9.1
10~16.5倍	2	9.1
28倍	1	4.5
NA	8	36.4
計	22	100.0

表17 推薦入試と一般入試の相違点 ( )内は同項目学校数

・市内の高等学校に通学しているか市内に住所を有する者、学習成績が一定以上の者 (6)
・高等学校調査書の成績が一定以上の者 (6)
・指定校制、地域指定制 (5)
・卒業後、市内または指定地域の医療機関に就業する意思を有する者 (5)
・卒業見込みのもの (4)
・当校指定の高等学級に在籍する者、評定3.5、B以上ある者、英検3級以上の学力を有する者 (4)
・本人又は、親権者が県民であり、2年以内に高校を卒業した者及び見込みの者、成績がB(3.5)段階以上の者、欠席日数10日以内/3学年 (3)
・試験科目が少ない (3)
・県内(市内)高校のみ (2)
・県内の高等学校を卒業見込みの者。入学を確約できる者
・高校卒業見込者、学習成績が一定以上、卒業後区域内に就職
・高等学校調査書の成績が一定以上の者
・設置主体の関係市町村内の高校出身者
・学科試験がない
・科目が小論文のみ
・高校評定平均3.7以上で面接し問題がなければほとんど入学させる
・面接がある
・高校限定、成績概評B以上(評定平均値3.6以上)、専願、地域指定
・概評B3.5以上、現役の高校生、本校のみの専願
・過疎地域に所在する高校を卒業見込みの者 全教科平均3.9以上 県内に就業する意志のある者

表18 社会人入試と一般入試の相違点 ( )内は同項目学校数

・満25歳以上(平成20年4月1日現在)、地域指定で在職又は居住、入学確約、地域内への就業確約 (3)
・23歳以上、社会人経験3年以上(見込含む) (2)
・毎年4月1日現在満23歳以上、社会人経験3年以上、合格したら入学を確約できる者等
・学力試験なし
・定職に3年以上従事し、就職証明が提出できる人で試験が50%以上取れている人
・県内に1年以上在住又は在勤や就労経験が3年以上(入学時)という受験資格が異なる。
・現代文、数学Ⅰ、英語Ⅱが免除、年齢、社会人経験
・専願であること
・4月1日現在で25歳以上32歳未満の者
・高校卒業後4年以上
・市内在住又は市内勤務者
・当組合内居住者・指定した高校卒業見込者・専願
・社会人として3年以上の経験を有する者
・高等学校卒業し3年以上経過した者
・2年以上継続で就業した経歴のある者

4 2年課程入学試験〔一般、推薦〕

2年課程では一般入試と推薦入試の2種類のみ回答されていた。一般入試では、試験科目として60%以上の学校が実施している科目は、国語・数学・英語・看護の4科目があった。

推薦入学試験を実施しているのは5校で、一般入試との違いは、准看護師養成課程での成績に条件があることや一定地域内に住所があることなどが上げられている。志願倍率を平均値で見ると、一般入試の方が高い。

4-① 一般入試

筆記試験の有無： 筆記試験あり9校 NA1校

表19 一般入試科目

\*科目編成は学校により違うため科目毎に集計

試験科目	実施校	全校における割合
国語	9	90.0
数学	6	60.0
英語	7	70.0
専門基礎	4	40.0
看護	7	70.0
小論文	2	20.0
理科	1	10.0
社会	1	10.0
NA	1	10.0

表20 一般入試志願倍率

平均 3.8倍

志願倍率	学校数	%
1.02~1.3倍	2	20.0
1.5~1.6倍	3	30.0
3.0~3.5倍	2	20.0
17倍	1	10.0
NA	2	20.0

表21 面接試験の有無

	学校数	%
あり	8	80.0
なし	1	10.0
NA	1	10.0
計		100.0

4-② 推薦入試

表22 推薦入試の有無

	学校数	%
あり	5	50.0
なし	3	30.0
NA	2	20.0
		100.0

表24 推薦入学試験科目

\*科目編成は学校により違うため科目毎に集計

試験科目	実施校	実施校における割合
小論文	4	80.0
面接	3	60.0
専門基礎	2	40.0
看護	2	40.0

表26 推薦入試と一般入試の相違点 (自由記載回答校 3校)

・クラスの上位30%以内、本校専願
・県が指定した過疎地域の医師会長・医療機関の長が推薦、准看護師で過疎地域に勤務している者、もしくは准看護学校卒業見込みの者、卒業後は過疎地域に就職する者
・県内の准看護師養成所を卒業見込みの者で学校長が推薦する者、保護者が県内に住所を有している者、卒業後は県内に就職する者
・被推薦者の一親等の親族が県内に住所を有する者
・学校調査の教科全体の評定平均値が4.0以上准看護学校養成所では、最終成績順位が全体の30%以内

表23 推薦入学生者の全入学定員中の割合

割合	学校数	%	平均 32%
30%	2	40.0	
40%	1	20.0	
50%	2	40.0	

表25 推薦入試志願倍率

平均 2倍

志願倍率	学校数	%
1.1~1.5倍	3	60.0
2.5~3倍	1	20.0
NA	1	20.0

5 学生確保対策への取り組み

学生確保対策は、3年課程の86.7%、2年課程の60%、大学・短期大学でも取り組んでいる。

3年課程自由記載欄の主な取り組み内容を見ると、最も多いのは「学校説明会、学校見学、オープンキャンパス」等、実際を知ってもらう活動で、47校(78.3%)が実施しており、ホームページ作成・充実が39校(65%)であった。社会人入試や推薦入試を学生確保対策としてあげている学校もある。

2年課程、短期大学、看護大学でも、オープンキャンパスや学校説明会など表現は様々だが、実際を知ってもらう活動が行われている。

表27 学生確保対策に取り組んでいるか

	3年課程		2年課程		短期大学 学校数	看護大学 学校数
	学校数	%	学校数	%		
はい	52	86.7	6	60.0	2	1
いいえ	8	13.3	3	30.0	0	0
NA	0	0.0	1	10.0	0	0
計	60	100.0	10	100.0	2	1

表28 学生確保対策の具体的な取り組み内容 ( )内は同項目学校数

3年課程
・学校説明会、学校見学、オープンキャンパスの実施。(44)
・高校への訪問。学外での進路説明会(30)
・ホームページ充実(11)
・地元及び周辺地域高校へのPR活動(2)
・推薦入学試験(地域指定校制)の実施。学院祭時の学校説明会実施。設置主体病院の総合案内に「学生募集要項(入学願書)」を置く。
・学生の出身校に学校見学会のチラシや学校案内を持って行ってPRしてもらう。また、学校見学会では、学生が中心となり体から出る心音等を聴かせたり沐浴のデモンストレーションをして看護を理解させる。
・社会人入試の実施。塾や高校の学校説明会。学校の行事(キャンピング)に市民・高校生を招待。高校生希望者の聴講。オープンスクールは学生主体で共感をもたせる。
・募集要項やポスターを近辺の高校や職安・近辺自治体の図書館等に張り出し、案内を依頼。医師会との連携。
・推薦入試における指定校があり、看護学校専任教員が高校で講義を行っている。
・学校訪問。ホームページ掲載。病院や官公庁への案内とポスター掲示。
・推薦入試の評定を下げた。学校見学を個別に対応している。
・学院見学会。ホームページの充実検討中。
・平成20年度より社会人入試を設けた。

2年課程	
准看護師養成所に直接募集要項を持参して願います。オープンスクールの開催。ホームページで紹介。	
希望者への学校案内。進路情報誌への入試情報提供。(2)	
1月下旬に学院ガイドを各高校に出向いてPRを図る。	
体験入学の実施	
短期大学	
・オープンキャンパスの開催。進路相談会への積極的な参加。	
・オープンキャンパス8月上旬2回開催	
看護大学	
・オートキャンパス。高校訪問。コンソーシアム主催の大学ガイダンス参加	

## 6 寮について

3年課程の36.7%、2年課程の30%に寮がある。  
寮費については、質問の仕方が曖昧であったため、回答金額が月額か年額か在学习期間を通してか不明となり、明確なものだけを表記した。3年課程の10校と、2年課程3校は金額のみの記載であったため不明とした。

表30 寮費 (割合は寮のある学校数を母数としている)

寮費	3年課程	
	学校数	%
40,000円/月	1	4.5
35,000円/月	1	4.5
14,800円/月	1	4.5
8,000円代/月	3	13.6
7,000円代/月	1	4.5
3,500円/月	1	4.5
3年分で30,000円	1	4.5
光熱水費のみ	2	9.1
無料	1	4.5
不明	10	45.5
計	22	100.0

表29 寮の有無

寮の有無	3年課程		2年課程		短期大学 学校数	看護大学 学校数
	学校数	%	学校数	%		
あり	22	36.7	3	30.0	0	0
なし	38	63.3	7	70.0	2	1
NA	0	0.0	0	0.0	0	0
計	60	100.0	10	100.0	0	0

## 7 入学金について

3年課程の86.7%、2年課程の50%が入学金を徴収している。入学金を、県内(市内)・県外(市外)で分けている学校が、3年課程の15.4%、2年課程の40%あり、短期大学・看護大学は回答のあった全校が県内(市内)・県外(市外)で分けていた。〔表32～34参照〕

表31 入学金納入の有無

入学金納入の有無	3年課程		2年課程		短期大学 学校数	看護大学 学校数
	学校数	%	学校数	%		
あり	52	86.7	5	50.0	2	1
なし	8	13.3	5	50.0		
NA	0	0.0	0	0.0		
計	60	100.0	10	100.0	2	1

表32 入学金一律徴収校

一律徴収校 金額	課程毎平均 3年課程:48,308円 2年課程:75,187円			
	3年課程		2年課程	
	学校数	% (44校中)	金額	学校数
110,000～150,000円	4	9.1	150,000	1
80,000～100,000円	6	13.6		
55,000～70,000円	6	13.6	70,000	1
45,000～50,000円	10	22.7		
10,000～22,000円	4	9.1		
7,000～9,100円	8	18.2		
3,000～6,000円	6	13.6	5,560	1
計	44	100.0		3

表33 入学金額を県内(市内)・県外(市外)で分けているか。

	3年課程		2年課程		短期大学 学校数	看護大学 学校数
	学校数	% (52校中)	学校数	% (5校中)		
分けている	8	15.4	2	40.0	2	1
同額	44	84.6	3	60.0	0	0
NA	0	0.0	0	0.0	0	0
計	52	100.0	5	100.0	2	1

表34 県内(市内)・県外(市外)で入学金を分けている場合の金額

	3年課程		2年課程		短期大学		看護大学	
	県外(市外)	県内(市内)	県外(市外)	県内(市内)	県外(市外)	県内(市内)	県外(市外)	県内(市内)
県内(市内)・外で分けている学校の内訳	169,200	56,400	150,000	75,000	423,000	211,500	564,000	282,000
	150,000	70,000	7,910	5,650	225,600	112,800		
	120,000	60,000						
	90,000	7,000						
	50,000	40,000						
	30,000	10,000						
	8,470	5,650						
平均(円)	78,198	31,838	78,955	40,325				

### 8 授業料(年額)

授業料は、一律徴収平均額として、3年課程が164,675円、2年課程が142,600円で、各々1校ずつ一律徴収ではない学校があった。〔表35・36参照〕

100,000～144,000円の間、3年課程の25校(41.7%)が、2年課程では、5校(50%)が入っている。

表35 授業料

金額	3年課程		2年課程		短期大学 学校数	看護大学 学校数
	学校数	%	学校数	%		
621,000円					1	
535,800円						1
480,000円	1	1.7				
300,000～390,000円	5	8.3			1	
200,000～270,000円	7	11.7	2	20.0		
170,000～192,000円	11	18.3				
150,000～168,000円	4	6.7	1	10.0		
120,000～144,000円	12	20.0	1	10.0		
100,000～119,000円	13	21.7	4	40.0		
60,000～99,000円	3	5.0				
42,000円			1	10.0		
10,000～18,000円	3	5.0				
136,800,205,200	1	1.7				
115,200,夜間57,600			1	10.0		
計	60	100.0	10	100.0	2	1

表36 授業料 一律徴収校の課程毎の平均

課程	平均金額
3年課程	164,675
2年課程	142,600
短期大学	300,000
看護大学	535,800

### 9 教材費等必要経費

教材費は学校によってかなりバラツキがあるが、平均値をとると3年課程と2年課程の間に大きな差はない。

なお、2年課程に3年次の数値があるのは、定時制で修業年限3年間の学校が含まれるからである。各学年の内訳は、表37～39を参照。

表37 課程毎の平均金額(円)

課程	1年次	2年次	3年次
3年課程	187,254	74,461	73,973
2年課程(3年次定時)	180,567	91,025	77,050
短期大学	69,500	53,500	4,900
看護大学(4年次0円)	88,000	34,000	47,000

表39 2年次

金額	3年課程		2年課程		短期大学 学校数	看護大学 学校数
	学校数	%	学校数	%		
180,000～230,000円	4	6.7	2	20.0		
100,000～140,000円	6	10.0	1	10.0		
80,000～91,000円	8	13.3	1	10.0	1	
60,000～75,000円	12	20.0	1	10.0		
40,000～56,000円	5	8.3	1	10.0		
15,000～33,000円	7	11.7	2	20.0	1	1
3,000～5,000円	3	5.0		0.0		
2,000円	1	1.7		0.0		
NA	14	23.3	2	20.0		
計	60	100	10	100	2	1

表38 1年次

金額	3年課程		2年課程		短期大学 学校数	看護大学 学校数
	学校数	%	学校数	%		
380,000～400,000円	3	5.0		0.0		
300,000～350,000円	5	8.3	2	20.0		
280,000～295,000円	3	5.0		0.0		
250,000～270,000円	8	13.3	1	10.0		
200,000～240,000円	4	6.7		0.0		
170,000～198,000円	5	8.3	1	10.0		
130,000～160,000円	6	10.0	1	10.0		
100,000～128,000円	5	8.3		0.0	1	
50,000～96,000円	4	6.7	2	20.0		1
20,000～36,000円	6	10.0	1	10.0		1
5,000円	1	1.7		0.0		
NA	10	16.7	2	20.0		
計	60	100	10	100	2	1

表40 3年次

金額	3年課程		2年課程		短期大学 学校数	看護大学 学校数
	学校数	%	学校数	%		
200,000～260,000円	2	3.3		0.0		
170,000～195,000円	4	6.7	1	10.0		
120,000～145,000円	4	6.7		0.0		
90,000～110,000円	6	10.0		0.0		
70,000～82,000円	5	8.3	1	10.0		
50,000～68,000円	7	11.7		0.0		
20,000～47,000円	7	11.7	1	10.0		1
10,000～16,000円	8	13.3	1	10.0		
2,000～6,000円	3	5.0		0.0		2
NA	14	23.3	6	60.0		
計	60	97	10	100	2	1

表41 一括の場合(8校)

3年課程 平均 266,250円			2年課程(1校のみ) 400,000～450,000円		
金額	学校数	割合			
300,000～330,000円	4	6.7			
200,000～260,000円	4	6.7			

表42 複数課程の教材費必要経費

夜間課程 3学年共	150,000円
衛生看護科専攻科 1年次:	83,900円、
2年次:	97,250円

## 10 学生の補償制度

損害保険等の学生の補償制度への加入は、3年課程の1校を除く全校、2年課程、短期大学、看護大学の全校の学生が加入している。しかし、任意加入の学校が3年課程7校、2年課程1校あり、必要性を説明して加入しているものと思われる。

表43 学生の補償(損害保険等)制度加入

加入の有無	3年課程		2年課程		短期大学 学校数	看護大学 学校数
	学校数	%	学校数	%		
あり	59	98.3	10	100.0	2	1
なし	1	1.7	0	0.0		
NA	0	0.0	0	0.0		
計	60	100.0	10	100.0	2	1

表44 学生の補償制度は全員加入か任意加入か

	3年課程		2年課程		短期大学 学校数	看護大学 学校数
	学校数	%	学校数	%		
全員加入	53	88.3	9	90.0	2	1
任意加入	6	10.0	1	10.0		
全員・任意	1	1.7	0	0.0		
計	60	100.0	10	100.0	2	1

## 11 奨学金制度

奨学金制度について、今回「どの位の学生が利用しているか」を聞いた。奨学金は、希望する学生全員が受けられるわけではなく、独立行政法人日本学生支援機構奨学金の場合、学校枠が決められていたり、入学前に(高校から)決まっている場合がある。また、設置主体による奨学金も、利用するためには条件があり、希望者全員が受けられるわけではないという現状を考慮して数値を見る必要がある。

表45 奨学金制度 各課程平均利用割合

課程	a 第一種奨学金	b きぼう21プラン奨学金	設置主体の奨学金
3年課程	4.9%	14.7%	16.1%
2年課程	1.6%	4.7%	4.9%
短期大学	16.1%	19.9%	11.2%
看護大学	19.0%	34.0%	0.0%

表48 11-②設置主体による奨学金 利用割合

割合	3年課程		2年課程		短期大 学 学校数	看護大 学 学校数
	学校数	%	学校数	%		
60~71%	4	6.7	0	0.0		
40~49%	4	6.7	0	0.0		
30~39%	2	3.3	0	0.0		
20~29%	5	8.3	1	10.0	1	
10~16%	5	8.3	1	10.0		
0.2~8%	10	16.7	5	50	1	
0(なし)	0	0.0	2	20.0		1
NA	30	50.0	1	10.0		
計	56	93.3	10	100.0	2	1

### 11-① 日本学生支援機構奨学金

表46 a 第1種奨学金 利用割合

割合	3年課程		2年課程		短期大 学 学校数	看護大 学 学校数
	学校数	%	学校数	%		
19.00%	0	0.0	0	0.0		1
15~17.5%	1	1.7	0	0.0	2	
10~14%	5	8.3	0	0.0		
5~9%	19	31.7	0	0.0		
5%以下	26	43.3	6	60.0		
0(なし)	0	0	3	30		
NA	9	15.0	1	10.0		
計	60	100.0	10	100.0	2	1

表49 その他の奨学金(自由記載) ( )内は同項目数

3年課程	2年課程
・自治体による看護師等修学資金 (13)	・自治体による看護師等修学資金 (2)
・病院による奨学資金 (5)	・病院による奨学資金
・地域看護協会による奨学資金 (2)	・自治体高等学校等奨学金
・自治体による育英資金 (2)	・個人財団
・あしなが育英資金 (2)	
・母子家庭高等技能訓練促進費	
・公益信託による看護学生奨学基金	
・厚生連	
・県母子寡婦福祉資金	

表47 b きぼう21プラン奨学金 利用割合

割合	3年課程		2年課程		短期大 学 学校数	看護大 学 学校数
	学校数	%	学校数	%		
40~47%	2	3.3	0	0.0		
30~35%	4	6.7	0	0.0		1
22~28%	8	13.3	0	0.0	1	
11~20%	16	26.7	2	20.0	1	
6~10%	11	18.3	1	10.0		
4~5%	4	6.7	2	20		
0(なし)	0	0.0	4	40.0		
NA	15	25.0	1	10.0		
計	58	96.7	10	100.0	2	1

## 12 就職状況

- ① 設置主体病院への就職状況は、3年課程で33～39%、2年課程で14～18%、短期大学で15～21%、大学で5～15%であった。3年課程では、設置主体病院への就職を促すなんらかの取り組みを行っており、自由記載欄に就職説明会・進路ガイダンスを実施していると答えた学校が21校(35%)ある。中には、先輩からの近況報告・アドバイス、実習時の対応への配慮依頼、学校経由の採用申し込み手続き等を上げている学校もあった。しかし、地域への就業促進が期待されているため、特に設置主体病院にだけ積極的に働きかけることはないと答えた学校や、主たる実習病院なので特にしていないと答えた学校もあった。〔表50～54参照〕
- ② 設置主体以外の実習病院への就職状況は、3年課程で17～19%、2年課程で36～46%、短期大学は0、大学では72～92%であった。自由記載欄に就職説明会・見学会などの取り組みをしていると答えたのは、3年課程の9校(15%)である。2年課程と短期大学ではとくにないとなされておらず、大学では就職ガイダンスを依頼しているとのことであった。〔表55～59参照〕
- ③ 学校所在地の都道府県への就職状況は、3年課程が72～73%、2年課程が73～77%、短期大学は39～51%、大学は32～60%であった。〔表60～63参照〕

### 12-① 設置主体病院への就職状況

表50 設置主体病院への就職状況 課程毎の平均値

課程	17年度	18年度	19年度
3年課程	33.4%	39.1%	36.4%
2年課程	14.5%	17.0%	18.6%
短期大学	15.7%	18.9%	21.0%
看護大学	15.0%	5.0%	8.0%

表51 設置主体病院への就職状況:17年度

割合	3年課程		2年課程 学校数	短期大学 学校数	看護大学 学校数
	学校数	%			
90～100%	1	1.7	0		
70～89%	3	5.0	0		
50～69%	9	15.0	1		
30～49%	14	23.3	0		
10～29%	15	25.0	2	1	1
9%以下	7	11.7	5	1	
なし	3	5.0	1		
NA	8	13.3	1		
計	60	100.0	10	2	1

表54 設置主体病院への就職を促す取り組み内容

3年課程	( )内は同項目学校数
・就職説明会、進路ガイダンスでの指導 (21)	
・個別指導等 (5)	
・就職先病院の先輩からの近況報告・アドバイス (3)	
・修学資金制度の利用 (3)	
・設置主体病院からの看護部長の募集説明 (2)	
・学校経由での申し込み採用手続き (2)	
・設置主体病院から講師を迎えている (2)	
・実習時の学生への対応、かかわり方について、良い印象を持てるよう配慮をお願いしている。	
・公務員試験合格への対策	
・論文指導、模擬面接、求人情報の提供等	
・設置主体病院と連携をとり、卒業生との懇談会を行っている。	
・本校の設立の目的を説明している。面接を行っている。	
・教職員が一丸となって、設置主体病院就職をめざし、学生に対する相談体制をとっている。	
・設置されている地域への就業の促進への期待が大きく、就業を特に積極的に働きかけることはしていない。	
・主たる実習病院であるため特にしていない	

3年課程における設置主体病院への就職状況 (表51～53 再掲)

割合	17年度	18年度	19年度
90～100%	1	2	3
70～89%	3	3	2
50～69%	9	14	8
30～49%	14	11	19
10～29%	15	16	14
9%以下	7	6	4
なし	3	2	4
無回答	8	6	6

表52 設置主体病院への就職状況:18年度

割合	3年課程		2年課程 学校数	短期大学 学校数	看護大学 学校数
	学校数	%			
90～100%	2	3.3	0		
70～89%	3	5.0	0		
50～69%	14	23.3	0		
30～49%	11	18.3	1		
10～29%	16	26.7	6	2	
9%以下	6	10.0	1		1
なし	2	3.3	1		
NA	6	10.0	1		
計	60	100.0	10	2	1

表53 設置主体病院への就職状況:19年度

割合	3年課程		2年課程 学校数	短期大学 学校数	看護大学 学校数
	学校数	%			
90～100%	3	5.0	0		
70～89%	2	3.3	0		
50～69%	8	13.3	1		
30～49%	19	31.7	2	1	
10～29%	14	23.3	2		
9%以下	4	6.7	2	1	1
なし	4	6.7	2		
NA	6	10.0	1		
計	60	100.0	10	2	1

#### 2年課程

- ・病院による就職説明会への参加を呼びかける
- ・卒業生に学校に来てもらい、病院の概要について説明してもらう
- ・特にしていない

#### 短期大学

- ・病院及び人事担当による職員採用ガイダンスを7月下旬 1回実施

#### 看護大学

- ・就職ガイダンスに頼学依頼

3年課程における設置主体以外の実習病院への就職状況 (表56～58 再掲)

割合	17年度	18年度	19年度
90～100%	0	0	0
70～89%	1	1	3
50～69%	6	5	4
30～49%	4	8	7
10～29%	12	11	12
9%以下	13	8	7
なし	14	18	18
無回答	10	9	9

12-② 設置主体以外の実習病院への就職状況

表55 設置主体以外の実習病院への就職状況 課程毎の平均値

課程	17年度	18年度	19年度
3年課程	17.4%	18.4%	19.6%
2年課程	40.1%	46.9%	36.9%
短期大学	0.0%	0.0%	0.0%
看護大学	72.0%	92.0%	92.0%

表56 設置主体以外の実習病院への就職状況:17年度

割合	3年課程		2年課程 学校数	短期大学 学校数	看護大学 学校数
	学校数	%			
90~100%	0	0.0	1		
70~89%	1	1.7	2		1
50~69%	6	10.0	0		
30~49%	4	6.7	2		
10~29%	12	20.0	3		
9%以下	13	21.7	0		
なし	14	23.3	1	1	
NA	10	16.7	1	1	
計	60	100.0	10	2	1

表59 設置主体以外の実習病院への就職を促す取り組み

( )内は同項目学校数

3年課程
・就職説明会、病院見学会 (9)
・実習でのよい雰囲気、興味関心もてる看護モデルの動機づけ
・論文指導、模擬面接、求人情報の提供等
・実習病院へ就職した卒業生を招き、就職活動や就職後の生活について語ってもらう時間を設ける。
・職員採用試験への相談・願書等の取りまとめ等
・精神科の病院に適性のある学生へ働きかけ (設置主体病院が精神の専門病院)
・精神科看護領域では卒業直後の就職はない。しかし、何年か臨床経験を積んでから就職する学生がいる。
・奨学金の紹介

表57 設置主体以外の実習病院への就職状況:18年度

割合	3年課程		2年課程 学校数	短期大学 学校数	看護大学 学校数
	学校数	%			
90~100%	0	0.0	0		1
70~89%	1	1.7	3		
50~69%	5	8.3	1		
30~49%	8	13.3	2		
10~29%	11	18.3	3		
9%以下	8	13.3	0		
なし	18	30.0	0	1	
NA	9	15.0	1	1	
計	60	100.0	10	2	1

表58 設置主体以外の実習病院への就職状況:19年度

割合	3年課程		2年課程 学校数	短期大学 学校数	看護大学 学校数
	学校数	%			
90~100%	0	0.0	0		1
70~89%	3	5.0	2		
50~69%	4	6.7	2		
30~49%	7	11.7	0		
10~29%	12	20.0	2		
9%以下	7	11.7	1		
なし	18	30.0	2	1	
NA	9	15.0	1	1	
計	60	100.0	10	2	1

2年課程	・「特になし」との記載が1件のみ。
短期大学	記載なし
看護大学	就職ガイダンスに来学依頼(県内施設のみ)

12-③ 学校所在地の都道府県内の就職状況

表60 所在地の都道府県内の就職状況 課程毎の平均値

課程	17年度	18年度	19年度
3年課程	72.9%	72.1%	73.0%
2年課程	73.7%	76.0%	77.7%
短期大学	39.3%	48.2%	51.7%
看護大学	32.0%	60.0%	45.0%

表62 所在地都道府県内の就職状況:18年度

割合	3年課程		2年課程		短期大学 学校数	看護大学 学校数
	学校数	%	学校数	%		
100%	1	1.7	0	0.0		
90~99%	16	26.7	1	10.0		
80~89%	12	20.0	4	40.0		
70~79%	9	15.0	0	0.0		
60~69%	8	13.3	1	10.0		1
50~59%	5	8.3	2	20.0	1	
30~49%	3	5.0	0	0.0	1	
10~29%	3	5.0	0	0.0		
なし	2	3.3	0	0.0		
NA	1	1.7	2	20.0		
計	60	100.0	10	100.0	2	1

表61 所在地都道府県内の就職状況:17年度

割合	3年課程		2年課程		短期大学 学校数	看護大学 学校数
	学校数	%	学校数	%		
100%	4	6.7	0	0.0		
90~99%	9	15.0	1	10.0		
80~89%	13	21.7	2	20.0		
70~79%	8	13.3	1	10.0		
60~69%	10	16.7	2	20.0		
50~59%	6	10.0	2	20.0		
30~49%	3	5.0	0	0.0	2	1
10~29%	2	3.3	0	0.0		
9%以下	1	1.7	0	0.0		
NA	4	6.7	2	20.0		
計	60	100.0	10	100.0	2	1

表63 所在地都道府県内の就職状況:19年度

割合	3年課程		2年課程		短期大学 学校数	看護大学 学校数
	学校数	%	学校数	%		
100%	5	8.3	1	10.0		
90~99%	8	13.3	3	30.0		
80~89%	14	23.3	0	0.0		
70~79%	14	23.3	2	20.0		
60~69%	9	15.0	1	10.0		
50~59%	2	3.3	2	20.0	2	
30~49%	2	3.3	0	0.0		1
10~29%	2	3.3	0	0.0		
9%以下	1	1.7	0	0.0		
なし	2	3.3	0	0.0		
NA	1	1.7	1	10.0		
計	60	100.0	10	100	2	1

13 非常勤講師依頼について

非常勤講師依頼については、3年課程の81%、2年課程の90%が「困っている」と答え、自由記載欄に、業務多忙や、交通の便の悪さによる講師確保の困難な状況が上げられている。

表64 非常勤講師依頼で困ったことがあるか。

	3年課程		2年課程		短期大学 学校数	看護大学 学校数
	学校数	%	学校数	%		
あり	49	81.7	9	90.0	1	1
なし	8	13.3	1	10.0	1	0
NA	3	5.0	0	0.0	0	0
計	60	100.0	10	100.0	2	1

表66 専門基礎分野「疾患理解」担当講師の職種

職種	3年課程		2年課程		短期大学 学校数	看護大学 学校数
	学校数	%	学校数	%		
医師	48	80.0	9	90.0	1	1
医師以外	11	18.3	1	10.0	0	0
NA	1	1.7	0	0.0	1	0
計	60	100	10	100.0	2	1

表65 「疾患の理解」に関する科目担当講師

	3年課程		2年課程		短期大学 学校数	看護大学 学校数
	学校数	%	学校数	%		
常勤	4	6.7	1	10.0	1	1
常勤ではない	53	88.3	9	90.0	1	0
一部常勤	2	3.3	0	0.0	0	0
NA	1	1.7	0	0.0	0	0
計	60	100.0	10	100	2	1

表67 非常勤講師依頼で困っていること ( )内は同項目学校数

<b>3年課程</b>
・講師確保が困難(特に地元では) (13)
・医師の講師は診療業務が忙しく、受けていただけなかったり、都合のよい時期、曜日、時間に合わせて時間割を入れられないといけない状況。(13)
・交通の便があまりよくない。地理的理由で断られることも多い。また、周辺に大学等の教育機関がなく、講師以上の学識経験のある方を探すことも難しい。(6)
・一般教養では看護の分野の理解に時間がかかり、なかなか意図する内容で講義が引き受けてもらえないこと (3)
・時期、期間、曜日に制約があり、関連性を効果的にする進捗調整がしにくい。講師料が安価であり依頼しにくい。(2)
・休講や授業変更をしなければならないときがある
・一科目、一講師の確保が困難。(2)
・新しいカリキュラムで取り入れたり、授業科目の講師の依頼
<b>2年課程</b>
・学校近郊に医学や看護系の大学がないため、特に、基礎分野と専門分野では精神看護学の講師の確保に苦慮している。(2)
・実習病院で7:1の看護基準をとるために、看護師の講義時間を100時間ほど減らすよう申し入れがあった。教育効果の点で不安なところがある。
・産婦人科、小児科の医師が少なく、母性看護学・小児看護学の講師が得難い。
<b>短期大学</b>
・科目数が多く、多人数の講師に依頼しなければならない。・特に医師の講師は時間調整が難しい。
<b>看護大学</b>
・職場の多忙を理由に断られることが多く、引き受けてくださる方を探すのが大変である。

14 実習施設の設置主体

表68 実習施設の設置主体 (複数回答)

設置主体	3年課程 n=60		2年課程 n=10		短期大学 学校数	看護大学 学校数
	学校数	%	学校数	%		
自治体立病院	55	91.7	7	70.0	2	1
医療法人	23	38.3	2	20.0		
社会福祉法人	19	31.7	2	20.0		
民間・私立	15	25.0	1	10.0		
日本赤十字社	6	10.0	1	10.0		
社団法人	4	6.7	1	10.0		
独立行政法人	4	6.7	1	10.0		
厚生連	3	5.0	1	10.0		
大学付属	3	5.0	3	30.0		
医師会	2	3.3	1	10.0		
国保直営	1	1.7	0	0.0		
NPO法人	1	1.7	0	0.0		
JA	0	0.0	1	10.0		
不明	2	3.3	0	0.0		

15 学校の統合あるいは廃止の動きがあるか

表69

動きの有無	3年課程 n=62		2年課程 n=10		短期大学 学校数	看護大学 学校数
	学校数	%	学校数	%		
ない	47	75.8	8	80.0	2	1
あり	2	3.2	2	20.0		
話題としてはあるが未定	4	6.5	0	0.0		
NA	9	14.5	0	0.0		
計	62	100	10	100	2	1



自治体立看護学校に関する教育施設部会調査票

(平成20年4月1日現在)

提出期限：平成20年4月21日(月)

都道 府県名		施設名		課程	
-----------	--	-----	--	----	--

※ 選択肢のある項目は該当する部分に○をして下さい。

1 入学に関して

①1学年定員は何名ですか。( )名

②受験手数料はいくらですか。( )円)

③入学試験について

試験の種類 a<一般入試>\*さしつかえなければ志願倍率を記載して下さい。( )倍

筆記試験 ( )あり, ( )なし

\*ある場合は試験科目について記入して下さい。

( )

面接試験 ( )あり, ( )なし

b<推薦入試> ( )あり, ( )なし

\*ある場合は定員の何%ですか。( )%

\*ある場合は試験科目について記入して下さい。

( )

\*受験資格等一般入試と違う点について記入して下さい。

( )

\*さしつかえなければ志願倍率を記載して下さい。( )倍

c<社会人入試> ( )あり, ( )なし

\*ある場合は定員の何%ですか。( )%

\*ある場合は試験科目について記入して下さい。

( )

\*受験資格等一般入試と違う点について記入して下さい。

( )

\*さしつかえなければ志願倍率を記載して下さい。( )倍

④学生確保対策に取り組んでいますか。( ) はい, ( ) いいえ

\*「はい」と答えた施設では具体的な取り組みについて記入して下さい。

[ ]

⑤寮がありますか。( ) はい, ( ) いいえ

\*ある場合は寮費はいくらですか。( )円)

2 入学金納入がありますか。( ) はい, ( ) いいえ

a. ある場合はいくらですか。( ) 円 )

3 授業料はいくらですか。(年額 ) 円 )

4 その他教材等必要経費はおおよそいくらですか。

\*複数課程ある場合は課程ごとに記入して下さい。

【課程: ]

a. 1年次 ( ) 円 )

b. 2年次 ( ) 円 )

c. 3年次 ( ) 円 )

d. 4年次 ( ) 円 )

e. 一括の場合 ( ) 円 )

【課程: ]

a. 1年次 ( ) 円 )

b. 2年次 ( ) 円 )

c. 3年次 ( ) 円 )

d. 4年次 ( ) 円 )

e. 一括の場合 ( ) 円 )

5 学生の補償(損害保険, 共済制度等)制度に関して

①学生は補償制度に加入していますか。( ) はい, ( ) いいえ

②全員加入ですか。任意加入ですか。( ) 全員, ( ) 任意

6 奨学金制度

①独立行政法人日本学生支援機構奨学金

a. 第1種奨学金 全学生の何%が利用していますか。( ) %

b. きぼう21プラン奨学金 全学生の何%が利用していますか。( ) %

②設置主体による奨学金制度を全学生の何%が利用していますか。( ) %

③その他の奨学金の利用があれば記載して下さい。

[ ]

7 就職状況

①設置主体病院に過去3年間, 平均で何%の学生が就職していますか。

平成17年度 ( ) %, 平成18年度 ( ) %, 平成19年度 ( ) %

\*卒業生が設置主体病院へ就職するよう取り組んでいることがありましたら, 具体的に記載して下さい。

[ ]

②設置主体以外の実習病院に過去3年間, 平均で何%の学生が就職していますか。

平成17年度 ( ) %, 平成18年度 ( ) %, 平成19年度 ( ) %

\*卒業生が設置主体以外の実習病院へ就職するよう取り組んでいることがありましたら, 具体的に記載して下さい。

[ ]

③学校の所在地の各都道府県内に過去3年間、平均で何%の学生が就職していますか。

平成17年度 ( )%, 平成18年度 ( )%, 平成19年度 ( )%

## 8 教育について

①非常勤講師の依頼について困っていることがありますか。( ) はい, ( ) いいえ

②「はい」と答えた施設でさしつかえなければ具体的に記入して下さい。

[ ]

③専門基礎科目における「疾患の理解」に関連する科目を担当する講師についておたずねします。

a.講師は常勤ですか。( ) はい, ( ) いいえ

b.講師の職種について ( ) 医師, ( ) 医師以外

\*医師以外の職種は具体的に記載して下さい。[ ]

④臨地実習について

\* どのような設置主体の施設にお願いしていますか。

[ ]

9 貴校において、学校の統合あるいは廃止の動きがありますか。

[ ]

御協力ありがとうございました。

お手数ですが、下記までご送付頂きますようお願い致します。

〒102-8556 東京都千代田区紀尾井町 3-27 剛堂会館 6階

(社) 全国自治体病院協議会 業務第二部

TEL 03-3261-8567 FAX 03-3261-1845

e-mail gyoumu2@jmha.or.jp